

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 34 号

第 34 週 (8月17日 - 8月23日)

発行年月日:平成21年(2009年) 8月27日

発行 :滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

インフルエンザは流行シーズン入り(全国、滋賀県)
新型インフルエンザの集団発生は24件(8月26日現在、滋賀県)
腸管出血性大腸菌感染症の発生は今年になって10例目

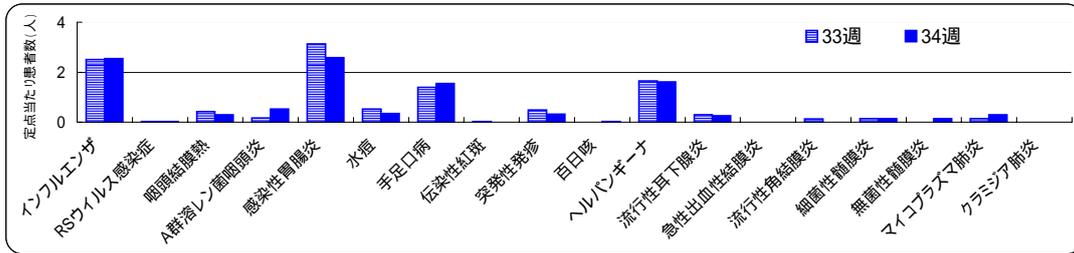
定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりやや少なくなっています。今週増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、手足口病等で、減少した疾患は感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。また、インフルエンザの定点当たり患者数が、先週に引き続き流行開始の目安としている1.00を上回ったため、滋賀県においても流行シーズンに入ったと考えられます。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、手足口病およびヘルパンギーナにおいて高島で警報発生基準値を超えています。

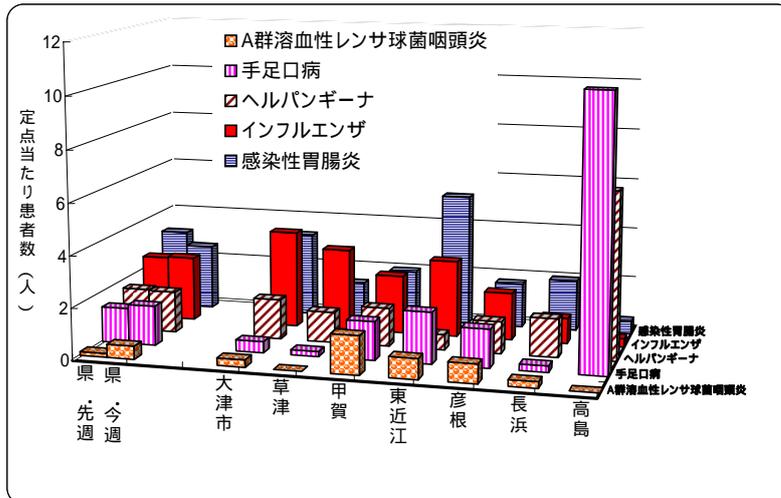
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で1名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名、五類感染症のアメーバ赤痢で1名、後天性免疫不全症候群で1名の届出がありました。また、新型インフルエンザ(H1N1)*で82名の届出がありました。

*: 集団感染が発生した集団における患者数(疑似症患者を含む)

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第34週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、インフルエンザ、ヘルパンギーナ、手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順に多くなっています。

インフルエンザは先週とほぼ横ばいですが、甲賀、東近江および彦根で増加し、特に東近江で急増しています。手足口病は高島で非常に多くなっています。

新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)発生状況(滋賀県)

クラスターサーベイランスにおける新型インフルエンザの集団感染は、8月26日現在で24件報告されています。保健所管内別では、大津市10件、草津3件、甲賀1件、東近江5件、彦根2件、長浜2件および高島1件となっています。また、感染症法第12条に基づく届出患者数(県外集団発生関連分を含む)は116名です。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (34週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (34週)	全国 (34週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	1	183	17,001	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	113 ^(*)2)	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	1	10	2,037	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	31	0	43
	A型肝炎	0	0	83	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	43	2	104
	マラリア	0	0	42	1	56
	レジオネラ症	0	4	450	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	1	9	522	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	147	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	82	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	78	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	6	959	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	53	1	76
	梅毒	0	0	457	5	839
	破傷風	0	2	67	5	123
	急性脳炎	0	1	147	1	190
	風しん	0	2	125	2	309
	麻疹	0	3	577	39	11,015
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)3)	82	105	8,854	-	-

*1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3: 感染症法の一部改正(7月24日施行)により届出の対象となった報告数です。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第34週(8/17～8/23) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎	1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	15例	
二類感染症: 結核	246例	つつが虫病	1例	劇症型溶血性	
三類感染症: 腸管出血性	大腸菌感染症	101例	デング熱	3例	レンサ球菌感染症
	細菌性赤痢	5例	マラリア	1例	バンコマイシン耐性
	コレラ	1例	日本紅斑熱	1例	腸球菌感染症
新型インフ: 新型インフルエンザ	1749例	レジオネラ症	4例	急性脳炎	2例
ルエンザ	(H1N1)	五類感染症: アメーバ赤痢	9例	風しん	1例
等感染症		梅毒	6例	麻疹	15例
		ジアルジア症	1例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間に単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に52カ所の定点*から総数52人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第29～34週、7/13～8/23)

疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	29週		30週		31週		32週		33週		34週	
	(7/13～)	(7/20～)	(7/27～)	(8/3～)	(8/10～)	(8/17～)	30	31	32	33	34	
インフルエンザ	0.60	0.58	0.96	0.85	2.50	2.54						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0.03	0.03						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.39	0.32	0.32	0.35	0.42	0.29						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	0.48	0.35	0.45	0.16	0.52						
感染性胃腸炎	3.42	3.26	3.52	3.23	3.13	2.58						
水痘	0.81	0.35	0.61	0.35	0.52	0.35						
手足口病	1.48	2.00	1.97	1.94	1.39	1.55						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0	0	0.06	0.03	0						
突発性発疹	0.68	0.48	0.55	0.35	0.48	0.32						
百日咳	0	0	0.03	0	0	0.03						
ヘルパンギーナ	1.58	1.97	2.84	2.84	1.65	1.61						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.23	0.19	0.45	0.39	0.29	0.26						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0	0.25	0.13	0	0.13	0						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0.14	0.14						
無菌性髄膜炎	0.14	0	0.14	0.14	0	0.14						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	1.14	0.14	0.29						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0.14	0	0	0	0						

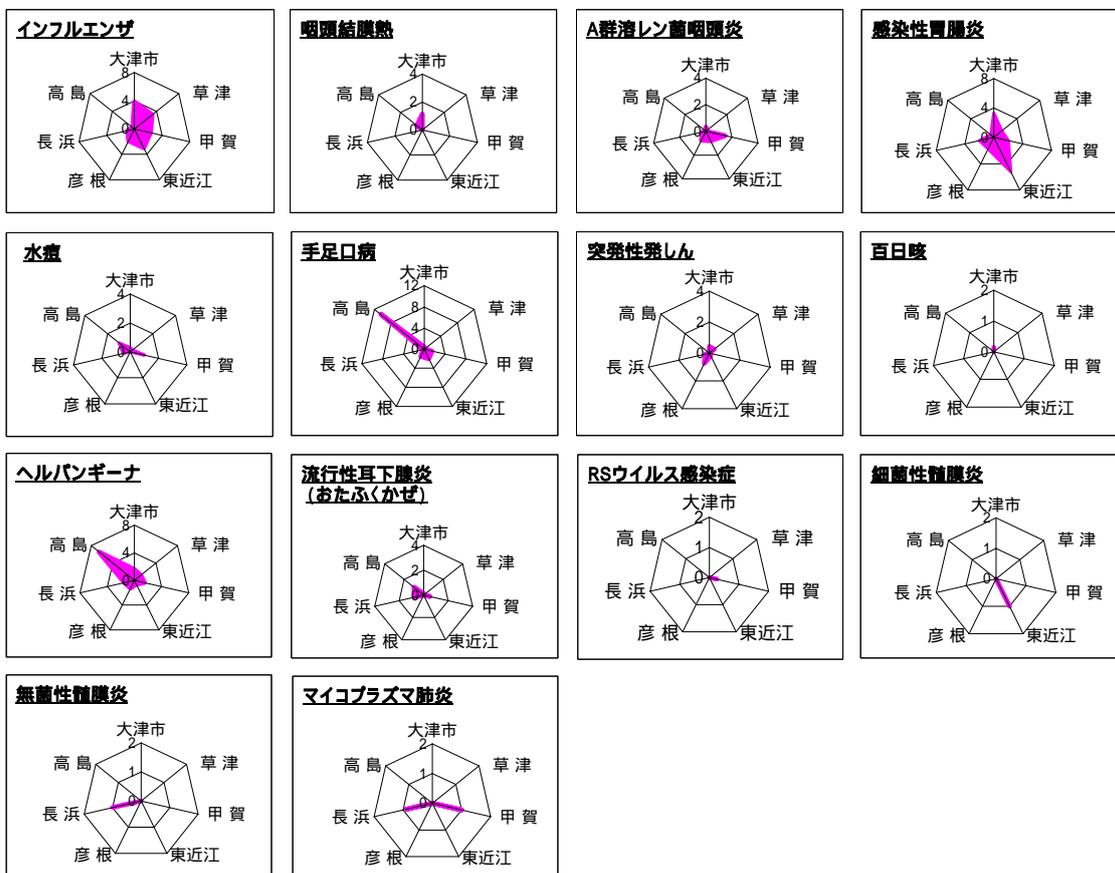
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第34週、8/17～8/23)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)									疾患別発生状況(県全体)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	2.54	3.82	3.22	2.29	3.00	1.86	1.00	0.33			
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0			
咽頭結膜熱(プール熱)	0.29	1.14	0	0	0	0	0	0.50			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52	0.29	0	1.50	0.80	0.75	0.25	0			
感染性胃腸炎	2.58	3.29	1.40	2.00	5.20	1.75	2.00	0.50			
水痘	0.35	0.29	0.20	1.00	0	0	0.50	1.00			
手足口病	1.55	0.43	0.20	1.50	2.00	1.50	0.25	10.50			
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0			
突発性発しん	0.32	0.43	0.40	0	0.20	0.75	0.25	0			
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	1.61	1.57	1.20	1.50	0.60	1.25	1.50	6.50			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.26	0.14	0	0.50	0	0	0.75	1.00			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0			
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	1.00	0	0	1.00	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

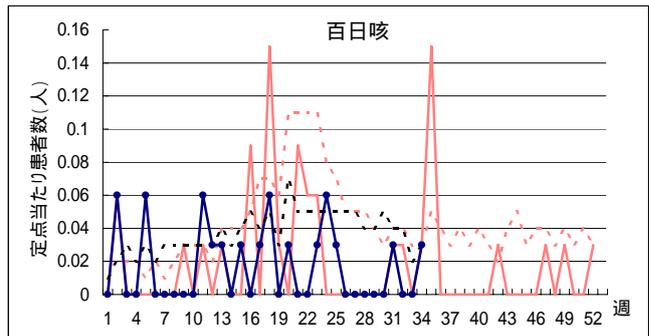
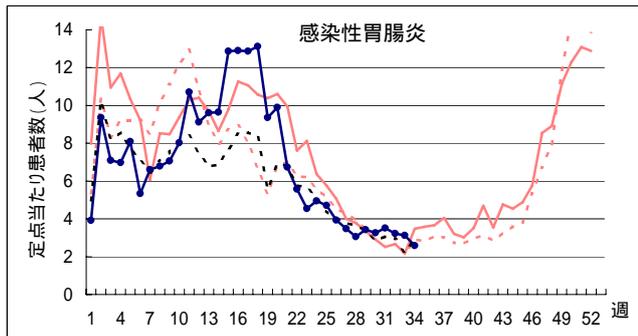
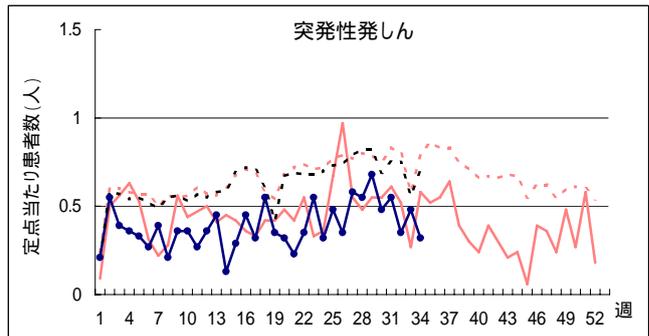
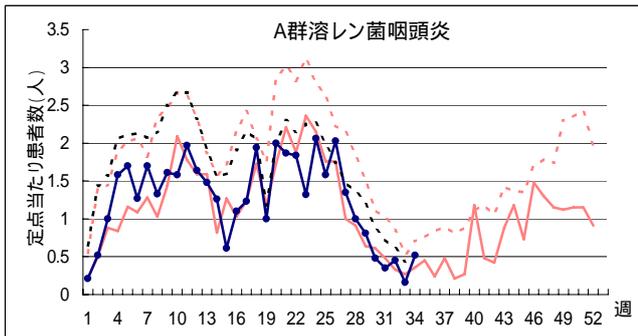
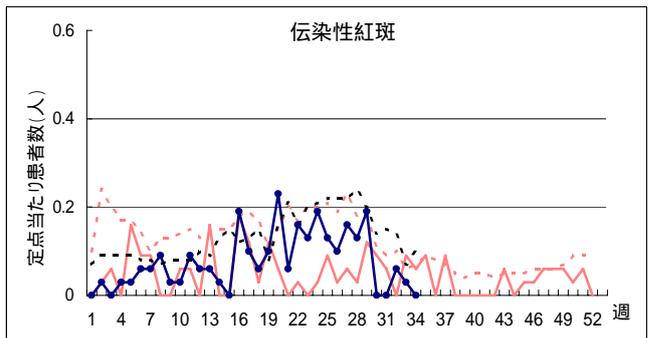
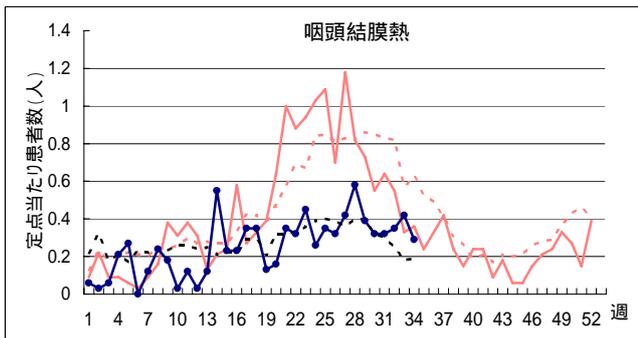
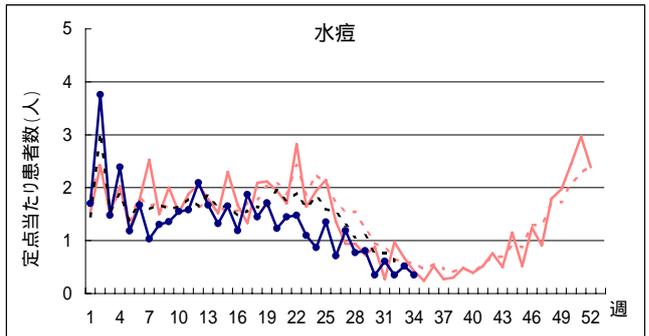
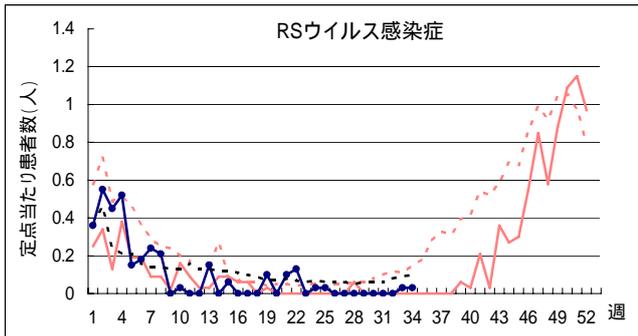
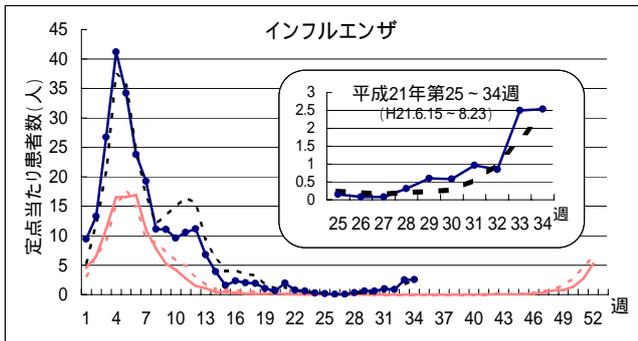


(3)今週の発生状況

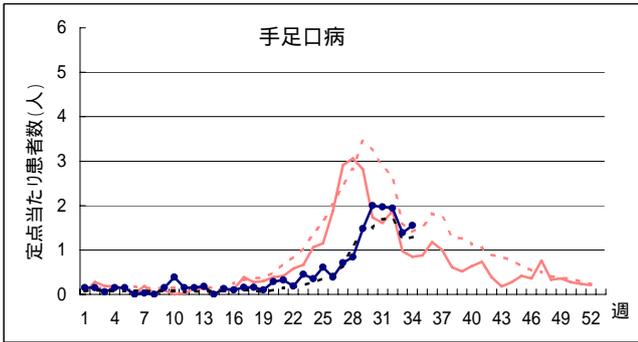
インフルエンザ-----県全体では先週の定点当たり患者数よりやや増加し、甲賀および東近江では先週よりかなり増加しています。県全体の年齢別の発生状況は、20～29歳、15～19歳、5～9歳、10～14歳、30歳～、0～4歳の順に多くなっています。特に20～29歳は全体の約26%、15～19歳は全体の約21%を占めています。

手足口病-----高島では再び急増し、定点当たり患者数は10.50と非常に多くなり、警報発生基準値を超えています。また、県全体の年齢別発生状況は1歳からの報告が多く、1～3歳で全体の約60%となっています。

疾病別定点当たり患者数(平成21年第1~34週、H20.12.29~H21.8.23)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第1～34週、H20.12.29～H21.8.23)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 ······
 H21
 { 滋賀 ————
 全国 ······

